

レベル2地震動適応製品

下水道マンホール用  
耐震性継手  
角度付き対応品

スペーサージョイントDR

バンドサイフォン

スペーサージョイントDRを  
角度付き対応に!!

優れた可とう性・伸縮性

優れた施工性

偏芯にも対応

SPACER JOINT BEND Siphon



株式会社 サンリツ



# ベンドサイフォンにもレベル2地震動に対応!!

## 特 長

## スぺーサージョイントDRを 角度付き対応に!!

### ■ レベル2地震動に対応

- 屈曲角1°かつ本管水平移動±60mmの状態でも外水圧0.1MPa・内水圧0.05MPaに耐える止水性を有します。

### ■ 優れた可とう性・伸縮性

- 屈曲角8°、垂直変位±10mm、本管水平移動±60mmの可とう性・伸縮性を有します。

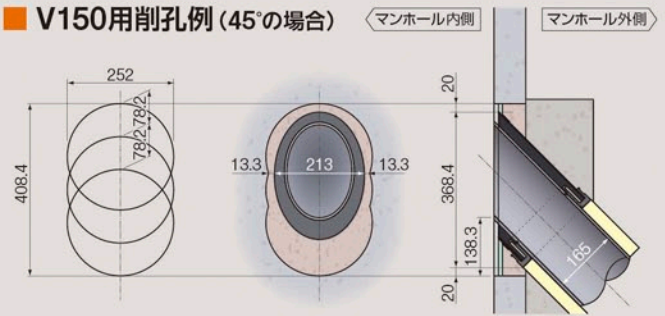
### ■ 優れた施工性

- 管口ステンレスバンドの締め付け作業は必要ありません。

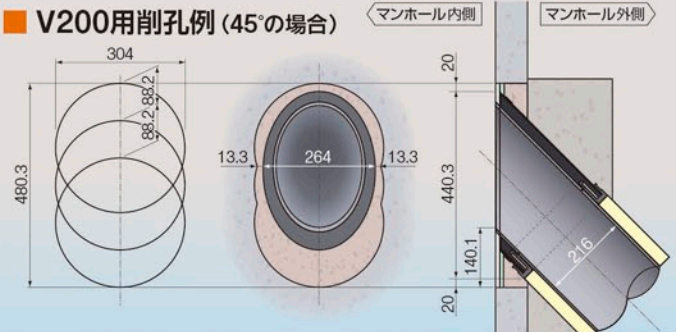
## 偏芯にも対応!!

ベンドサイフォン以外に芯ズレ等各種偏芯にも対応します。

### ■ V150用削孔例 (45°の場合)



### ■ V200用削孔例 (45°の場合)



## SPACER JOINT DR BEND SIPHON



## 施工手順

### Vタイプ

#### ■ 施工に必要な工具

- 止水(急結)モルタル
- セットハンマー
- 滑剤
- ゴム手袋
- ウェス

#### 1 位置決め・面取り・清掃



本管位置を決めた後、本管の面取りを行い、削孔面と本管を清掃します。

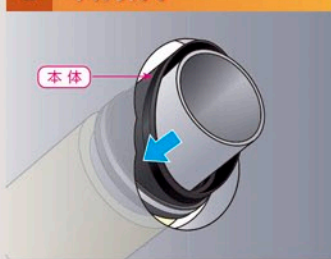
※ 面取りが少ないと本体が入りにくくなります。

#### 2 防護リング挿入



防護リングを本管に挿入します。その後、滑剤を本体ゴムの管口、本管に十分に塗布し、プチルテープの離型紙をはがします。

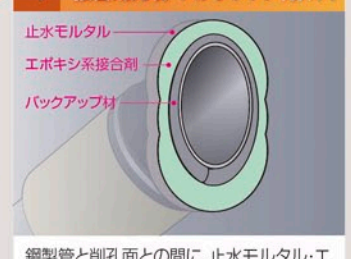
#### 3 本体挿入



本体を本管へ押し込みます。

※ 入りにくい場合は打込み補助具を管口リング部にあてハンマーで叩き込んでください。(打込み補助具使用図参照)

#### 4 接合剤充填・バックアップ材挿入



鋼製管と削孔面との間に、止水モルタル・エポキシ系接合剤の順で充填し、バックアップ材を挿入します。その後マンホール内径に合わせ本管を切断し、目地仕上げを行います。

※ 設計に応じて防護コンクリートを打設してください。



## Vタイプ

### バックアップ材

目地仕上げ時に、中空部を確保します。  
材質：エーデル系ウレタンフォーム

### ブチルテープ

止水モルタルと鋼製管とのなじみをよくします。  
材質：ブチルゴム系粘着材

### 鋼製管

マンホール削孔面と本体ゴムとの接合に用います。  
材質：SS400

### ステンレスバンド

材質：SUS304又はSUS316

### 本体ゴム

可とう性・伸縮性を持ちます。  
材質：エチレンプロピレンゴム (EPDM)

### 防護リング

コンクリート打設時に、  
本管の可とう性を保持します。  
材質：エーデル系ウレタンフォーム

本管  
(塩ビ管)

### 管口リング

リップによる止水性を確保します。  
材質：SS400またはABS

目地

ブチルテープ

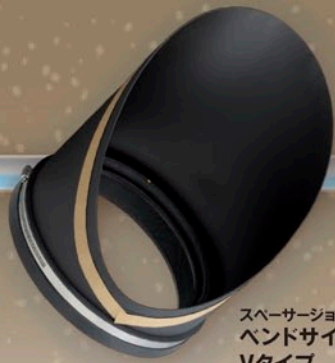
エポキシ系接合剤

接合部の止水性を確保します。  
材質：エポキシ樹脂

止水モルタル

中空部

防護コンクリート



スパーサジョイントDR  
ベンドサイフォン  
Vタイプ

## ⚠ 注意事項

製品をばらしたり、ステンレスバンドを  
ゆるめたりしないでください。

● 削孔径が、ハツリ等で標準より大きくなる場合は、添付の接合剤が足りなくなりますので、エポキシ系の接合剤を用意してください。(エポキシ系であれば、どのメーカー品と併用しても問題はありません。ただし、添付の接合剤と混ぜ合わせての使用はしないでください)

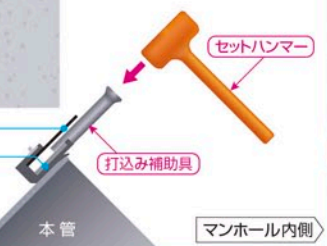
● 本体の取付け前に削孔径を確認して製品が入ることを確認してください。

● 接着受口カラーには使用できません。

● 必ず止水モルタルを使用してください。  
※商品例：ライオンシスイ(住友大阪セメント株)、  
エレホン#300(エレホン化成工業株)等

## 打込み 補助具 使用図

鋼製管  
管口リング



マンホール外側

本管

マンホール内側



施工方法は、HPにて動画で確認できます。  
<http://www.sanritsu.com>



施工方法の動画は、  
QRコードからアクセスします。  
※QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。



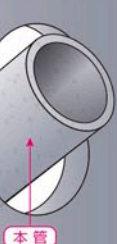
## Hタイプ

### 施工に必要な工具

● 止水(急結)モルタル ● セットハンマー ● ゴム手袋 ● ウエス

### 1 位置決め・清掃

マンホール内側



本管位置を決めた後、削孔面と本管を清掃します。

### 2 防護リング・本体挿入

防護リング

本体



防護リングを本管に挿入し、管口リング、鋼製管のブチルテープの離型紙をはがします。その後、管口パッキンと本管を水でぬらして本管に挿入し、キャンパーで製品を固定します。

### 3 接合剤充填・接合



止水モルタル

本管と管口リング及び鋼製管と削孔面との間を止水モルタルでブチルテープの上まで充填します。その後、鋼製管端面でエポキシ系接合剤を充填します。

### 4 接合剤充填・バックアップ材挿入

エポキシ系  
接合剤

バックアップ材



バックアップ材を本体ゴムと鋼製管の間に挿入します。その後、目地仕上げを行います。  
※設計に応じて防護コンクリートを打設してください。

## 取付断面図

### Hタイプ

#### バックアップ材

目地仕上げ時に、中空部を確保します。

材質：エーテル系ウレタンフォーム

#### ブチルテープ

止水モルタルと鋼製管とのなじみをよくします。

材質：ブチルゴム系粘着材

#### 鋼製管

マンホール削孔面と本体ゴムとの接合に用います。

材質：SS400

#### 管口リング

本管と本体ゴムとの接合に用います。

材質：SS400

#### ステンレスバンド

材質：SUS304又はSUS316

#### 本体ゴム

可とう性・伸縮性を持ちます。

材質：エチレンプロピレンゴム (EPDM)

#### 防護リング

コンクリート打設時に、本管の可とう性を保持します。

材質：エーテル系ウレタンフォーム

本管  
(ヒューム管)

マンホール外側

マンホール内側

#### エポキシ系接合剤

接合部の止水性を確保します。

材質：エポキシ樹脂

目地

ブチルテープ

止水モルタル

中空部

管口バックシン (Hタイプのみ)

本管と管口リングの止水性を向上させます。

材質：水膨張性ゴム

防護コンクリート

**SANRITSU 株式会社 サンリツ**

■ 本社 〒930-3251 富山県中新川郡立山町上中143番地  
Tel.076-462-9325 Fax.076-462-9334  
✉ mail@sanritsu.com  
**www.sanritsu.com**



■ 技術センター (相談窓口) ☎ **0120-300-635**

■ 関東支店 Tel.048-686-8892 Fax.048-686-8849

■ 北陸支店 Tel.076-462-9328 Fax.076-462-9334

■ 名古屋支店 Tel.0568-71-0699 Fax.0568-71-0944

※このカタログに記載の寸法・仕様などは製品改良などにより予告なく変更する場合があります。